



iMeC
WISE

文部科学省 卓越大学院プログラム
革新医療創生CHIBA卓越大学院

NEWS LETTER



Vol.3



卓越大学院プログラム

プログラムについて

このプログラムは、革新医療創生を担う卓越した『知のプロフェッショナル』を養成することを目指しています。医学をはじめ、9専攻の修士課程と、先端医学薬学専攻の4年博士課程を一貫した6年制の新しい大学院教育プログラムです。革新的な医療を創生するイノベーターとして、新たな医学の知の創出や社会実装に貢献できる能力を習得すべく、既存の枠を越えて組織されたクラスター制CHIBA教育システムや特別な教育カリキュラムによって、高度な専門性と俯瞰力、独創力、チャレンジ精神などを培います。

卓越教養特論



卓越教養特論では大変著名な先生方にご講演いただきました。自身の専攻とは異なる分野のお話を伺い、見聞を広めるとともに先生方との太い繋がりを得られました。

革新医療創生演習



革新医療創生演習では様々な研究室を数日訪問し、それぞれの研究室に特徴的な実験手技を学びました。また研究内容についても学び、同じ大学内で様々な研究がされていることに驚きました。この演習は共同研究のきっかけや副専攻決定の端緒となりました。

リトリート



リトリートは今年初めてオフラインで開催され、英語でビジネスプランや研究の発表が行われました。

実践英語



実践英語では、英語を使ったプレゼンテーションやディスカッションを実践形式で学びました。

鈴木翔大さん
卓越教養特論担当



卓越教養特論の一番の魅力は、医薬以外の研究分野でご活躍されている先生方から直接お話を聞き、幅広い考え方を吸収できることです。例えば、私が尊敬する偉人「渋沢栄一」を研究されている木村昌人先生や、私が感銘を受けた著書『嫌われる勇気』の著者、岸見一郎先生と議論できたことは貴重な財産となりました。また、ワクワクするような研究に関する講義だけでなく、先生方のこれまでの苦労や研究への向き合い方も話してくださり、自分も挫けないように頑張ろうと、勇気をもらえました。

所属：生化学（薬学領域）
学年：2期生

林佑紀さん
リトリート担当



今年は新型コロナウイルス感染症の第7-8波が到来する一方「with コロナ」の流れから講義は対面となりつつある中、オンサイトにZoom併用で開催し各領域の研究発表と、「AI・ビッグデータ時代の医療健康ビジネス」をメインテーマに掲げ、チーム毎にビジネスプラン発表を行いました。本会は私にとって、ビジネスと研究が未知あるいはニーズのある領域の模索、先行研究・ビジネスと比べた新規性の確立といった観点で共通点や親和性を有すること、また他分野の先生との議論から今までになかった視点に気付かされ、視野を広げるとても良い機会となりました。この場をお借りし関係者の皆様に心より御礼申し上げますとともに、本会の益々の発展を祈念申し上げます。

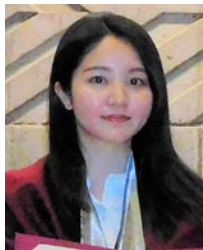
所属：アレルギー臨床免疫学（医学領域）
学年：2期生



修了生の紹介



令和5年3月に革新医療創生CHIBA卓越大学院の記念すべき第1期生から2名が修了いたしました。



今井萌乃さん

所属：生化学（薬学領域）

3年という短い期間でしたが、卓越大学院プログラムを通して様々なことを経験させていただきました。特に卓越教養特論やサブ専攻では様々な分野の研究者の方々と交流させていただき、主専攻の枠にとどまらない幅広い視野を得ることができました。また革新医療創生実習ではWHO訪問という貴重な経験をさせていただき世界の視点から見た自分の研究の意義やキャリアについて深く考える機会となりました。これまで卓越を通して関わってくださった皆様に心からお礼申し上げます。



小野亮平さん

所属：循環器内科学（医学領域）

私は循環器内科学に所属し、2020年に卓越大学院の1期生として入学をしました。初年度であり先輩方や先例がない中で、千葉大学における卓越大学院プログラムのベースを築くつもりでプログラム活動への参加や勉学に励みました。トリプル指導教授のシステムによって自身の研究分野のみならず他分野との融合や、大学院学生フォーラムにおける卓越大学院プログラム同士の交流などもあり、幅広い知見を得ることができました。卓越大学院修了に際して、この場をお借りして関係者の先生方や学務係、プログラム担当者に感謝申し上げます。



3期生の紹介



4年博士課程7名、修士・博士一貫教育課程2名の計9名が3期生として活動しています。



北川恭太さん

4年博士課程
整形外科学
(医学領域)

脊髄損傷における神経学的予後の客観的予測モデルの開発



田代奨さん

4年博士課程
イノベーション再生医学
(医学領域)

iPS細胞由来間葉系幹細胞の不老化と骨再生への応用



萩原健太さん

4年博士課程
分子心血管薬理学
(薬学領域)

マクロファージにおける老化に伴う組織リモデリングを司る転写因子ネットワークの機能解析



小島伊織さん

4年博士課程
脳神経外科学
(医学領域)

幹細胞形質からの回復によるグリオーマ治療



長沢思音さん

4年博士課程
疾患システム医学
(医学領域)

成育環境による心血管代謝疾患発症の分子メカニズムの探索



田中和さん

修士・博士一貫教育課程
イノベーション医学
(医学領域)

筋層における腸管間葉系細胞を中心とした細胞間相互作用と慢性疾患への関与



瀧由樹さん

4年博士課程
分子病態解析学
(医学領域)

原発性アルドステロン症、副腎性クッシング症候群を含む副腎疾患のシングルセルRNA-seqを用いた病態解明



金恵理さん

4年博士課程
分子心血管薬理学
(薬学領域)

抑うつストレスが血液免疫系を介して心不全を誘発するメカニズムの解明



大石かなえさん

修士・博士一貫教育課程
免疫微生物学研究室
(薬学領域)

制御性T細胞表面糖鎖抗原の解析

学生の活躍

第2期生の千田克幸さんは、令和4年12月17日に開催された「大学院教育改革フォーラム」の学生ワークショップで優秀賞を受賞されました。千田さんは令和4年度の卓越教養特論・企画／司会を担当しました。



千田克幸さん

所属：薬物学（薬学領域）

学年：2期生

私達は臨床の現場のニーズと研究成果を共有する掲示板を作り、発表しました。私がこの発表を考えたのは2つ理由があります。1つ目は私達のチームがプラズマの基礎研究、基礎と臨床を繋ぐ薬学、そして臨床で活躍する看護師で構成されていて、議論を重ねる中で基礎と臨床の繋がりに貢献したいと考えたためです。2つ目は卓越プログラムの授業(卓越教養特論)で分野の異なる様々な研究成果を知り、これまで臨床と関わりのなかった研究成果も臨床に応用できるのではないかと考えたためです。今回の活動はチームで議論を重ね、新たな価値の創出を試みる良い経験となりました。この経験は研究や起業など様々なことに活かせると考えています。

